

第13回山崎七郎杯 8人制少年サッカー大会

兼 第14回全道少年(U-10)8人制サッカー大会 札幌地区予選

開催要項

目的	札幌市の少年サッカーのレベルアップを図るとともに、第14回全道少年(U-10)サッカー大会に札幌地区代表として出場するチームを決定する。
主催	(一社)札幌地区サッカー協会
主管	札幌市サッカースポーツ少年団連盟
後援	札幌市教育委員会、(一財)札幌市体育協会、札幌市サッカースポーツ少年団連盟後援会
運営	東区
期日	予選リーグ 平成29年6月11日(日)・18日(日) 代表決定トーナメント 平成29年6月25日(日)
参加資格	①(公財)日本サッカー協会第4種に加盟したチーム及び所属する小学校4年生以下の選手であること。ただし、未就学児の参加は認めない。 ②4年生が9名以上いる場合は、同一チームから複数エントリーが可能である。全てのエントリーチームに専属の有資格の指導者、帯同審判員の登録を必要とし、選手の入替えが行われないよう、大会エントリー用紙の提出を義務付ける。 ③参加選手はスポーツ安全協会傷害保険(第1種A)もしくはこれに準ずる傷害保険に加入していること。 ④札幌代表9チームは全道少年U-10サッカー大会(7月15日~17日・岩内)への出場を義務づける。 ※全道大会出場チームは3級以上の帯同審判を義務付ける。帯同審判員は、監督と兼務できない。帯同審判員がベンチ入りのコーチとなる場合、審判業務を優先するものとする。
競技方法	①予選リーグ、代表決定トーナメントを行い、代表9チームを決定する。 ②試合時間は24分(12分-5分-12分)とする。勝敗の決定しない時は、いわゆるPK方式(3名)により次回進出チームを決定する。代表決定戦においては、6分(3分-3分)延長し、なお決しない時はPK方式(3名)により決定する。 ③1次リーグの順位決定方法は(1)勝ち点(勝ち:3点 引き分け:1点 負け:0点)(2)得失点(3)総得点(4)対戦相手(5)抽選の順とする。
競技規則	①(公財)日本サッカー協会制定「サッカー競技規則2016/17」および「8人制サッカールールと審判法」による。 ②試合は8人制で行い、16名登録のフリー交替とし、メンバー表の提出を義務付ける。 ③各チーム、大会初戦の試合の45分前までに選手証のチェックを会場本部で行うので、遅れずに集合すること。 ④試合開始30分前に、ユニフォーム(フィールド・キーパー正副4着持参すること)と、大会エントリー表(会長印の押されているもの)とメンバー表の照合を会場本部で行うので遅れずに集合すること。 ⑤大会において退場させられた者は次の1試合に出場できず、大会期間中に警告を2回受けた者は次の1試合に出場できない。退場の理由・内容によっては、(一社)札幌地区サッカー協会リスペクト・フェアプレー委員会の判断により複数の試合、または一定期間の出場停止もあり得る。 ⑥使用球は、4号球(検定球)とする。 ⑦スパイクシューズは固定スタッドのものとし、金属あるいはプラスチック製取替スタッドのものは認めない。 ⑧審判は、主審1名・副審2名・四審1名の4名で行う。
ユニフォーム	①ユニフォームは(公財)日本サッカー協会ユニフォーム規定を厳守すること。 ②シャツ・ショーツ・ソックスは正の他に副としてこれと異なる色のシャツ・ショーツ・ソックスを携行すること。 ③審判と類似の色のシャツを用いることはできない。
その他	①札幌市サッカースポーツ少年団連盟の活動方針を遵守し、大会運営に積極的に協力すること。参加資格等、その他不都合な行為があった場合、出場を停止することもある。 ②フィールドサイズについては、60m×40mを基本とする。 ③この大会の札幌地区予選から北海道大会に至るまで、同一選手が異なるチームへ移籍後、再び同一大会に参加することはできない。 ④大会の追加エントリー締め切りは、5月16日(火)17:00とする。